

令和8年度美術刀剣製作技術保存研修会 刀職技能訓練講習会 実施報告

刀職技能訓練講習会が本年も無事に開催されました。今回で40回目となる講習会の模様を以下に報告します。

講習会は、例年通り柄下地・刀装金具の2部門が開講され、それぞれ「柄下地の基礎技法」「透鐔の制作」のテーマの下、受講生は技術習得に励んでおりました。

6月24日には開講式が挙行され、4日間の講習が始まりました。4日間という限られた期間ではありますが、講師の先生方の熱の入ったご指導と、受講生の真摯な姿勢により非常に内容の

久保講師による指導



濃いものとなりました。

最終日の閉講式では、久保講師より受講生に受講証書が授与され、玉岡講師から講評がありました。玉岡講師からは「古作をよく見て学んで1年間修練し、その成果を現代刀職展に出品し技を競ってほしい」とのお言葉をいただきました。

透鐔制作の様子



受講証書授与



だき、本年度の講習会は無事に終了いたしました。

講師の先生方には、ご多忙にもかかわらず大変熱心なご指導をいただきました。衷心より厚く御礼申し上げます。また講習会の実施にあたり数々のお骨折りをいただいた備前長船刀剣博物館の職員の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。



玉岡講師による講評



実施日 6月24日(水)～27日(土)
講師

〈柄下地の部〉 柄巻師 久保純一
〈刀装金具の部〉 彫金師 玉岡俊行
受講生

〈柄下地の部〉 3名 上原 麻未
田上 友唯
細川 美樹
石井 瑛湖
片山 重恒
桑野 冬照
武田 悠稀
中山 恒久
前田 航汰
山口 正興

〈刀装金具の部〉 7名